

第 1 回 泉中学校再編検討委員会 会議録

日時	平成27年7月6日（月）19時00分～20時21分
場所	泉市民館
出席者	委員（20名） 山内六男、鈴木和朗、伊藤正幸、渡辺好崇、花井俊郎、廣中一郎、太田完一、埴原正男、天野英夫、樅山節生、千賀修治郎、渡会真由美、花井 充、山内正久、神谷佳予子、清水千里、橋爪香奈子、中村八重美、彦坂登一朗、山本忠史 事務局（8名） 花井教育長、前田教育部長、鈴木努教育総務課長、三竹教育企画室長、鈴木欽也学校教育課長、冨田政策推進課長、鈴木淳一渥美支所地域課長、清水教育企画室主任
欠席者	なし
傍聴者	2名
事務局	開会
教育長	あいさつ
事務局	委員紹介…自己紹介 事務局紹介
事務局	再編検討委員会について（資料1 再編検討委員会設置要綱等により説明） 泉中学校の学校再編について協議し、その結果を教育委員会教育長に報告する。 ・泉中学校の学校再編について ・その他学校再編に向けて必要な事項について
事務局	委員長選出 泉中学校再編検討委員会の委員長の選出を議題とします。 設置要綱第5条の規定により、委員長は委員の互選による。となっております。 委員長選出について、ご意見ございますか。
委員	指名推薦でいかがでしょうか。 つきましては、泉校区会長の山内六男さんを推薦したいと思います。 いかがでしょうか。
事務局	指名推薦で泉校区会長の山内六男委員という御意見が出ました。 御異議ございませんか。
	（異議なし）
事務局	御異議なしとのことですので、山内六男委員に委員長をお願いします。 ここからは、委員長に会議の進行をお願いします。
委員長	重責でございますが、委員長を務める泉校区会長の山内です。 泉中学校の再編について円滑に協議を進めていきたいと思っておりますので、皆さまの御協力をよろしくお願いいたします。
委員長	次に、副委員長の指名について議題といたします。 設置要綱第5条の規定により、副委員長は、委員長の指名による、となっておりますので、江比間自治会長の伊藤正之さんに副委員長をお願いしたいと思っておりますが、よ

	ろしいでしょうか。
	(異議なし)
委員長	ここで、伊藤副委員長にあいさつをお願いします。
副委員長	あいさつ
委員長	次に、泉中学校の再編について、事務局から説明をお願いします。
事務局	(資料 2 により説明) <ul style="list-style-type: none"> ・小中学校の再編方針 ・泉中学校の再編について ・渥美地域の中学校の再編問題について ・生徒数見込 ・福江中学校及び赤羽根中学校までの距離、部活動の状況
委員長	事務局からの説明が終わりました。 これまでの学校を考える会では、「泉中学校の再編はやむなし」との御意見でした。 今後、泉中学校の再編を検討していく上で、統合を前提に検討していくこととした いのですが、御意見・御質問などございましたらお願いします。 御意見もないようですので、泉中学校の再編を検討していく上で、統合を前提に検 討していくことでよろしいでしょうか。
	(異議なし)
委員長	異議なしとの御発声を頂きましたので、 今後、統合先と統合時期について協議を重ねながら検討していきたいと思いた ますのでよろしくをお願いします。
委員長	次に、今後のスケジュールについて事務局説明をお願いします。
事務局	(説明) <ul style="list-style-type: none"> ・赤羽根中学校及び福江中学校の学校見学会を開催予定。 ・保護者や地域の方との意見交換会を開催予定。 ・平成 28 年 3 月末までに方向性を決めたい。
委員長	次に、意見交換に入ります。 泉中学校の再編について、統合先、統合時期など学校再編について意見交換をした いと思います。事務局の説明に対する質問でも結構ですので、御意見ございませんか。
委員	私自身は平成 26 年度の保護者の意見交換会に出席し、その際、赤羽根中学校へ全員 で行きたいと言え、教育委員会も了承するとの話を聞いている。 今のところ全体的に赤羽根中学校へ行きたいという感じがする。 豊橋の一部では、近隣の小学校を選択する制度もあり、それもいいと思う。 泉校区として、例えば赤羽根中学校へ行きたいとなれば、そのとおりに行けるよう にしたい。 小学校、中学校、保育園の保護者、赤ちゃんがいる家の人を集めた意見交換会を何 回でもいいので開催して、それを踏まえて最終的に統合先を決めてほしい。 統合は大きなこと。知らない間に決められていたとの意見が出ないように保護者に

	も意見を聞いてほしい。
事務局	昨年同様に保護者説明会を開催したいと考えています。
委員	泉中学校は保育園、小学校、中学校と同じメンバーで外に出たことがない子供たちが多い。統合先を考えたとき、赤羽根中学校は穏やかな環境の中で生活して、同級生の思いやりや仲間意識があっていい。福江中学校よりは赤羽根中学校のほうが泉の子供たちの性格的になじみやすい。
委員	私の個人的な意見では統合先は赤羽根中学校がいい。 保護者の皆さんは、やはり赤羽根中学校という話が多い。 和地、堀切、伊良湖が統合して伊良湖岬小学校が始まっている。もともといる和地と、伊良湖と堀切から来る子供は自分の学校ではないというイメージがあり、ちょっと元気がないという話を聞いている。
委員長	何か把握していますか。
事務局	最初のときは、旧伊良湖小学校の子はやはり人数も少ないので、少し手を挙げるときに元気がなかった印象はあると聞いていますが、最近では一緒に元気よくやっていると聞いています。
委員	自分たちがよそから来た人間だと引け目を感じてしまったのかもしれない。
委員長	数か月たてば、なじんでいくのではないかと思う。
委員	小学校の行事についても、地区によって行事が違い、知らない行事があったようだ。
委員	統合して気持ちの切りかえができるように学校にはお願いしたい。
委員	今後、震災が来るのではないかとされている。例えば避難する際に統合によって人数がふえたことによって逆に目が行き届かなくなる不安がある。 そのあたりはどうか。
委員長	先生もふえれば対応可能だと思うし、マンモス校になるわけではない。
委員	学校では地震などの災害の際に基本的な対応が決まっている。 赤羽根中学校では津波の際は屋上へ上がる。統合したらそれに合わせてやっていくことになる。福江中学校も同じようだと思う。
委員	統合するなら赤羽根中学校がいい。私たちのときに福江中学校がすごく悪かった。 また、地震の際、赤羽根中学校のほうが高台だし、親が迎えに行く場合も福江だと海沿いを走ることになるので、それは避けたい。
委員	「赤羽根中学校に行く」、「福江中学校に行く」、「宇津江は田原中学校へ行く」、「三つに分かれる」など、いろいろなうわさを聞いた。人数が少ないのに分かれるとかわいそうなので、なるべくみんなと同じ中学校に行くようにしてほしい。
委員	統合するならみんなでまとまって行ったほうが、統合先の環境に入りやすい。 できればみんな一緒のほうがいい。
委員	なるべく大勢で入ったほうが気分的に楽だと思うので、再編の時期は伊良湖岬中学校と同時がいい。 統合については福江中学校と統合して、将来は渥美中学校を望みたい。 通学手段として公共交通も利用できるし、旧渥美町の中心である福江地区を活性化

	<p>するためにも福江地区への通学が必要だと思う。</p> <p>福江中学校は生徒が怖いという話をする人もいるが、どこの学校も一緒だと思う。</p>
委員	<p>やはり統合しなければいけないと思っている。</p> <p>ただ、基本的に田原市として全体を考えた中で再編をしてもらいたい。</p> <p>今、PTAの方からいろいろ意見が出た。やはり小学校区ごとに全体でどちらに行くかを決めたほうがいい。</p> <p>泉校区の学校を考える会には、過去 3 回出席している。メンバーによって意見はばらばらである。今の選択肢は基本的には赤羽根中学校か福江中学校になる。これについては、石神・伊川津は距離的には福江中学校のほうが近いし、八王子・村松の場合には赤羽根中学校のほうが近い。</p> <p>泉校区としてどの学校と一緒にするかについて、来年 3 月までにしっかり話し合いをして決めてもらいたい。</p>
委員	<p>うちには小さな子どもがいないが、地区ごとで分けて統合するより、まとめて赤羽根中学校や福江中学校に行ったほうがいい。</p>
委員長	<p>ばらばらではなく、福江なら福江、赤羽根なら赤羽根に一緒にという意見ですね。</p>
委員	<p>統合問題について、私も子どもがいなくて学校には遠のいている。</p> <p>地域で話を聞けば聞くほどいろいろな意見がある。「赤羽根中学校がいい」、「福江中学校がいい」ということで、これから PTA の人たちと話をし、この次にはもうちょっと突っ込んだ話ができるようにしたい。</p>
委員	<p>聞けば聞くほど、皆さんのおっしゃっていることがごもつともだと思える。</p> <p>生徒数は平均で各学年 20 数名。8 歳児が 40 人と飛び抜けて多いが、あとは 20 人ちょっとです。自分は地元で、昭和 35 年生まれが約 80 人だった。昭和 60 年生まれの子供が 60 人、孫の時代は 20 人で加速度的に子供の数が減っている。</p> <p>私の意見は、やはり泉小学校区で方向を一つに決めたほうがいい。</p> <p>赤羽根中学校と福江中学校を決めることは実に難しい。旧渥美町の区域で考えれば福江だし、度外視すれば赤羽根だと思う。うわさなどに惑わされるより、もう一つ乗り越えた事実を勉強して、結論を慌てることなく考えて、みんなが理解した上で決めなければいけない。</p> <p>もし仮に赤羽根中学校になれば、子供たちの心理的なことも考慮して伊良湖岬中学校と統合時期を合わせ、足並みをそろえたほうがスムーズではないかと思う。</p>
委員	<p>統合の目的として競争心や部活動の話があった。競争心の面では、子供たちは塾へもかなり行っていて、学校が変わったことで競争心が芽生えるかどうか疑問に思う。</p> <p>ただ、高校生になれば泉地域から福江や成章、農高に行く。それが 3 年ばかり早くほかの地域へ行くということだから、生徒の性格や地域性についての議論が最初になり、赤羽根中学校との声強い。</p> <p>本当に子供たちのことを考えて、遅かれ早かれ高校生になる 3 年後にはまたどこかへ行ってほかの人たちと一緒に勉強するから、福江中学校でもいい。</p>
委員	<p>自治会長という立場として、統合先については保護者の意見を優先して決めればい</p>

	い。通学手段や統合先が決まってから、出て来た皆さんの意見を自治会としては取りまとめていきたい。
事務局	通学手段については、これから話を進める中で重要な内容になります。 みんなでまとまって統合する場合、6 キロメートルを超える範囲になるので、自転車で行く、徒歩で行くという可能性は少なくなり、スクールバスで支援する形になるかと思います。
委員	和地小学校、堀切小学校、伊良湖小学校の 3 校が統合して、伊良湖岬小学校ではスクールバスが出ている。市のバスか。
事務局	市が業務委託しています。
委員	泉中学校が統合した場合、スクールバスは出るのか。
事務局	はい。
委員	資料では、概ね 6 キロメートルを超える場合は通学支援するとなっている。八王子から赤羽根中学校まで 5.5 キロメートルである。通学支援の対象になるのか。
事務局	校区でまとまって統合する場合、ほかの地区で 6 キロメートルを超えるところもあるので、概ね 6 キロメートルの通学支援対象と考えていきたい。
委員	八王子地区としては、一番近いのは赤羽根中学校になる。 皆で集まりながら徐々に 1 年間かけて話を煮詰めて、赤羽根中学校、福江中学校の方向を定めながら検討したほうがいい。
事務局	市として、中学校の保護者、小学校の保護者、保育園の保護者の皆さんとの意見交換会を予定しています。 意見交換会で出た保護者の意見については、検討委員会に報告して皆さんで協議していただきたいと思います。
委員	私には、学校へ行っている孫もいないので、周囲の意見を聞いて発言したい。
委員	学校の生徒数が減って選択肢がなくなると皆さんが言いますが、正直なところ、少人数の学校で何が悪いのかと思う。けれども、問題はお金のことだから、基本的にはこういう統合案になってきた。 自治会長の立場としては、跡取りは家にいるが、そうでなかったら学校の近くへ家を動かしてしまう。私たちのときは 1 学年 80 人で、現在も少なくなっているのに、学校が近くになくなると地域の人数がぐんと少なくなってしまう。 皆さんの住んでいる周囲を見ると、60 歳を過ぎてひとり暮らしの人がたくさんおられます。お年寄りが見えなくなるし、若い人がどこかへ行ってしまえば地域のコミュニティとしての結束が極端に薄くなってしまいます。 大きな地震や災害が来た場合、地域の消防団員や隣近所といったコミュニティの自治に頼るしかない。子供たちが少なくなって地域が弱体化して、加速度的に相互扶助のたがが抜けてしまう気がする。 中学校の統合をやらざるを得ないなら、地域を大事に考えるべきだと思う。 子どもたちは若いからこれから環境にはなれていくと思うが、上へ伸びていく新しい世代と減っていく地域との折り合いを考えないといけない。

委員	伊良湖岬中学校の統合先は、赤羽根中学校と決定しているのか。
事務局	決定していません。
委員	伊良湖岬中学校に合わせて泉校区も統合先を決めるのか。
事務局	昨年度 7 月の保護者との意見交換会でそういう意見が多かったため、学校全体配置計画では伊良湖岬中学校が統合を決定すると同時期に泉校区も統合先を決めるとしている。
委員	伊良湖岬中学校の統合先を見ながら、泉中学校の統合先を決定するほうがいいのではないか。
委員	人間性的には、伊良湖岬と赤羽根と泉は多分、相性がいい。 福江は違う、福江は怖いという周りからのイメージが強い。
委員	うわさに大分左右されてしまっている。私も福江高校ですけれども、怖いと思ったこともなかった。例えばたくさん生徒の中でいろいろな部活動をやりたい、あるいは競争力を養いたいと皆さんが希望されて、今、中学校の統合が前提になっている。 私が本当に今回聞きたかったのは統合ありきなのか。でも、先ほど校区会長が言われたように、統合が前提で話をしていくことに対して皆さんの御意見がなかったので、それはそれでいいと思う。ただ、皆さんがうわさに先導されている。フラットな状態で統合先はどこがいいかと考えるほうがいい。 例えば通学問題もある。当然、スクールバスは朝 1 便、帰りが 3 便ぐらい。 部活動に対応したスクールバスもあるのか。
事務局	スクールバス通学となった場合、中学校の部活動に対応したスクールバスを運行していけるように考えていきたい。
委員	部活動の時間にスクールバスが対応できないため保護者の送迎が必要になると、保護者の負担が大きくなる。部活動の終了時間を一律にして対応してもらいたい。
委員	伊良湖岬中学校については、伊良湖岬中学校全体で動くという意見は一致しているのか。それとも、分裂する可能性があるのか。
事務局	まだ検討段階ですけれども、校区全体で動いてほしいという話をしています。
委員長	伊良湖岬中学校は、平成 30 年に立ち退かなければいけない。 泉中学校は若干おくれでも立ち退く必要はない。方向性を今年度末の 3 月 31 日までに決めるとのことだが、若干おくれでも一緒に編入作業はできる。 伊良湖岬中学校の移転先の動向を見て、来年の 4 月、5 月、6 月ごろに決めてもいいのではないかと思う。
委員	野田校区が田原中学校と合併して何か不都合な点があるのかどうか。統合した後の野田中学校の動向を見たい。
委員	渥美地域に地域の結集軸となる新設中学校を近い将来建設することを要望する要望書があるが、仮にこの要望書のとおり渥美中学校が建設された場合、それ以前に、例えば赤羽根中学校や福江中学校に統合すると、統合して移動した子供たちが「僕らの中学校の統合は何だったのか」との気持ちになるのではないか。
委員長	渥美中学校があと数年の間にできれば統合しないという選択もあるが、渥美中学校

	<p>の建設は15年、20年先になる。世代が変わってから、しかも出来る可能性があるということだけである。20年先というと、泉校区で10人切るぐらいの生徒数になると思う。そう考えると、今のうちに統合は進めるべきだと思う。</p> <p>旧渥美地域の活性化という意味では渥美中学校建設の要望は正しいと思うが、金銭的な問題ですぐに渥美中学校はできない。伊良湖岬小学校の建設などで財政的にもすぐには無理ではないかと思う。</p> <p>そのほか、御意見ありますか。</p>
委員	<p>中学校の統合は致し方ないというのは分かる。統合によって効率はよくなるけれども、なくなるものもある。泉校区は、保育園、小学校、中学校が一緒にぬるま湯だと言われるけれども、子どものときはぬるま湯で育ったほうが幸せに決まっている。取ってつけたような競争とか、そういうものは別にいらぬ。</p>
委員	<p>子供の頃からのつながりは、大人になってからも強いつながりになっているので、すごく大切なことだと思う。</p>
委員	<p>子供たちのことも当然大切だが、効率だけではなく、なるべく地域を大事にしながら学校の統合を考えていく。</p>
委員	<p>子供たちの個性を伸ばすためにはどのような統合が必要かを大人が考えて統合することが大切だと思う。どうすれば泉の子供が生き生き元気に素直に育っていけるかを一番に大切に考えてほしい。</p>
委員	<p>泉中学校が、例えば福江中学校、あるいは赤羽根中学校に統合した際、スクールバスの支援としては1か月にどれぐらいの費用がかかるのか。</p>
事務局	<p>運行距離や運行時間によって変わるので一概には言えないですが、伊良湖岬小学校では、1台あたり年間で約1,100万円です。計3台運行しています。</p>
委員長	<p>保護者負担はあるか。</p>
事務局	<p>保護者負担はありません。</p>
委員長	<p>野田中学校が統合する際も、保護者負担はないのか。</p>
事務局	<p>保護者負担はありません。</p>
委員長	<p>皆さんの意見や今後の説明会などの意見をじっくり積み重ね、泉中学校再編検討委員会としての考え方や方向性をまとめていくように運営していきます。</p> <p>次に、その他、何かございましたらお願いします。</p>
事務局	<p>今後、泉中学校再編検討委員会だよりを作成して情報提供していきます。</p>
委員長	<p>ありがとうございました。</p> <p>では、その他ないようですので、本日の協議事項は全て終了しました。</p> <p>終わりに、教育長からあいさつをお願いします。</p>
教育長	<p>皆さんに質問を含めた意見をたくさんいただきありがとうございました。</p> <p>一人一人に御意見を出していただいて、地域でいろいろな考え方等も吸収して、次回、それぞれの御意見をお持ち寄りいただけたらと思います。</p> <p>また、校区の保護者の意見を聞く機会を設けて、泉校区全体で泉中学校の将来を考えていくということですので、第1回の会議にあたりたくさん意見が出たので、こ</p>

	<p>ういう姿勢で、みんなで一緒に考えていきたいと思います。</p> <p>また赤羽根中学校や福江中学校の見学をして、様子を聞き合う中でいい道筋をたどっていったらと思います。</p> <p>1年間、何回かお集まりいただいて御意見をいただきますので、引き続きどうぞよろしくをお願いします。</p> <p>きょうはたくさんの議論、ありがとうございました。</p>
委員長	<p>ありがとうございました。</p> <p>会議内容についてそれぞれの立場で地域の皆さんに情報提供をしていただきたいと思いますので、よろしくお願いします。</p> <p>以上をもちまして、第 1 回泉中学校再編検討委員会を終了いたします。</p> <p>御協力ありがとうございました。</p>